

# 日本金属学会会報「まてりあ」60巻記念企画について

編集チーム 井田駿太郎<sup>1</sup> 大塚 誠<sup>2</sup> 小柳禎彦<sup>3</sup> 近藤亮太<sup>4</sup> 齋藤信雄<sup>5</sup>  
佐々木秀顕<sup>6</sup> 竹田 修<sup>1</sup> 田中秀明<sup>7</sup> 三井好古<sup>8</sup> 宮部さやか<sup>9</sup>

新年、明けましておめでとうございます。本年も皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念しております。皆様には「コロナに負けるな」と日々工夫をしながら対応していることと思います。

日本金属学会会報「まてりあ」は本年(2021年)で60巻を迎えることとなりました。長年親しまれてきた会報「まてりあ」の表紙デザインを本号(第60巻第1号)から20年ぶりに更新しております。新しい表紙デザインはいかがでしょうか。西洋などとは違って『還暦』を大切にする東洋圏(中華文化圏)では「60」に特別な雰囲気があります。そこで本誌第60巻では1年を通して毎月様々な『60巻記念企画』の記事を掲載していく予定であります。

本号(第1号)の巻頭には日本金属学会会長の高梨弘毅先生から頂戴した『年頭のご挨拶』があり、その中で「まてりあ」60巻についても触れていただいております。また、60巻記念企画として『“あのころ”のまてりあ』では「座談会 日本金属学会創立の裏話(日本金属学会会報第3巻第2号(1964))」が紹介されており、創立当時の会員の思いが語られております。

第2号では記念企画として温めてきた実学講座「金属材料実験の手引き」がいよいよスタートします。この新企画は初めて金属学に触れる方にもわかりやすく図や写真を用いて解説することで実験に欠かせない手引き書としてご利用いただきたい。ご期待ください!

以降、記念企画として『金属素描』では「60」の数字に関連した原子番号60のネオジウム(Nd)を紹介し、『先達からのお便り』では増本健先生(日本金属学会第41代会長)に昔のことを振り返りながらご寄稿いただく予定であります。また、「創刊当時(1962年)はどんなことがあったんだろう?」と材料を通して振り返る巻頭企画『Back to 1962』も準備を開始しております。皆様はこの当時に何があったか思い出せますか?

会報「まてりあ」では様々な企画を通じて今後も魅力ある編集をしてまいります。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。最後に会報編集委員の皆様、事務局の皆様からの多大なるご協力と惜しみない努力に感謝申し上げます。



井田駿太郎



大塚 誠



小柳禎彦



近藤亮太



齋藤信雄



佐々木秀顕



竹田 修



田中秀明



三井好古



宮部さやか

本企画世話人：1 東北大学大学院工学研究科 2 東北大学多元物質科学研究所 3 大同特殊鋼株式会社 4 関西大学化学生命工学部  
5 長岡技術科学大学物質材料工学専攻 6 愛媛大学大学院理工学研究科 7 産業技術総合研究所電池技術研究部門  
8 鹿児島大学大学院理工学研究科 9 大阪大学大学院工学研究科

2020年11月26日受理[doi:10.2320/materia.60.40]